

No.136
2019
Spring

Hachinohe
Institute
of
Technology
Press
SOUKYU

蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

附属中学校1周年記念号

H. I. T. Communication



CONTENTS

八戸工業大学第二高等学校附属中学校

p2-3 入学式 / 1周年を迎えて / 1周年を振り返って

八戸工業大学

p4-5 祝入学 / まちづくりコンペティション / ロボット工学プログラム開設 / 卒業に寄せて / 白鳥とコアマモ調査 / 創生デザイン学科卒展 / 2018年度学チャレ成果発表

p6-7 体育会・文化会学生表彰 / 卒業生学科別表彰 / 音楽研究部紹介 / 学生ムービーコンテスト

p8-9 防災フォーラム / オープンデータ・デイ / 教職員ワークショップ / 方言アプリ開発 / 学生相談室講演会 / 退職教職員 / 進学相談会 / 新任教員紹介 / オープンキャンパス / 2020年度入試 / 体育館改修工事

八戸工業大学第一高等学校

p10-11 第61回入学式 / 部活動父母・顧問研修会 / 青森県スポーツ関係受賞者 / 第38回三部展+ 1 / 春の全国大会出場 / 第58回卒業式 / 主な表彰者 / 課題研究発表会 / 高校生による海外エネルギー事情研修会 / 消防庁長官賞受賞 / 新任教職員紹介

八戸工業大学第二高等学校

p12-13 第45回入学式 / オーストラリア異文化体験 / イングリッシュビレッジ / 高P連広報誌コンクール / 第44回卒業証書授与式 / 表彰者 / 入試合格状況一覧 / 退職・新任教職員紹介

さくら幼稚園

p14-15 入園おめでとう / ありがとうございます / ようちえんってこんなところ

p16 同窓会より / 大学の主な日程 / 理事会・評議員会



Mobile & iPhone & Android
◀◀◀モバイルサイトへアクセス



入学式

新入生の皆さんへ

～みんなちがって、
みんないい～

校長 明石 進



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはこの学舎で6年間、一緒に勉強し、一緒に汗をかき、一緒に涙を流し、一緒に成長し、将来の夢をつかみます。

金子みすゞの代表作「私と小鳥と鈴と」にある最後の二行に「鈴と、小鳥と、それから私、みんな違って、みんないい。」というのがあります。この世に存在する全てのものが、それぞれ違うからこそ、素晴らしく、素敵なことだといっています。つまり、15名の性格がそれぞれ違っていい、違う個性を認め合い、そして競い合って素晴らしい学年になることを期待します。

八戸工業大学第二高等学校附属中学校は 2019年4月、開校1周年を迎えました



●開校1周年を振り返って●

副校長 河原木 聡

昨年の4月6日に17名の第1回生を県内各地から迎え、記念すべき開校式が挙行されました。今思い起こすと、かなり遠くのことに気がします。それくらい、多くの活動と行事を、日々生徒たちと一緒に創り出すという充実した毎日を過ごして来ました。そして、二高生から多くの励ましを受けながら、見違えるほどに成長した生徒たちの姿からは、これからの可能性の大きさを感じています。ご期待ください。

教頭 石塚 利孝

開校にあたり、サイエンス・グローバル・ヒューマンの3つを特色教育の柱として掲げ、体験的・問題解決的な学習の実践を心がけました。生徒は、校外学習をはじめとする数々の活動を実践することで、附属中の求める「思考力・判断力・表現力」を身につけはじめています。特にサイエンス教育では、八戸工業大学と第二高等学校が密接に連携できている強みを、生徒の活動の様子・感想などから読み取ることができます。特色教育を1つ1つこなす姿を見て、5年後が楽しみになってきました。



グローバル 校外学習 Weblio English village 附中祭



サイエンス 科学の甲子園ジュニア 白神山地トレッキング 発想力強化出張教室 サイエンス基礎講座



ヒューマン まちおこし講座 八戸ふるさとセミナー 遠足 朝読書





入学、おめでとう

八戸工業大学
学長 長谷川 明

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

教職員を代表し、皆さんの入学を心から歓迎します。

本学は、「良き技術は、良き人格から生まれる」を教育理念とし、人材育成の教育と、課題解決の研究を通じて、地域への貢献に取り組んでいます。本学の教育目標は、皆さんが社会の担い手となるよう成長を手助けすることです。また、研究の目的は、社会が抱える課題を解決するため、調査・実験などを行って新たな知見を見だし社会の発展を支えていくことです。

北東北は自然や産業が豊かな地域です。また、地域ごとに特色ある伝統文化が受け継がれており、地域間は人体に

おける血管網のような社会インフラで結ばれています。私たちの教育・研究活動は、「手を取りあい、ともに守る」をコンセプトに、生活と向き合い、暮らしを創造し、社会を支えることを通じて、地域をまもり、地域の発展を促すことにつながると確信しています。

入学は、新しい人、そして新しいこととの出会いのはじまりです。戸惑いも多いかも知れませんが、新しく出会う友人や教職員との交流を大切に、ゆっくり、そして着実に、学生としての生活を準備してください。健康な体と心があってこそ学生生活です。生活のリズム、学修のリズムをじっくり整えて、大学の活動に取り組んでください。困ったときは、友人や先輩、そして教職員に遠慮無く相談してください。教職員一同、皆さんをサポートします。

また、学力や技術力の向上に加え、ぜひとも人間力の向上を目指してください。部活やサークル活動の場で、あるいは下宿で、様々な人との出会いを大切にしてください。学部学科を越え、出身地を越えて、交流してください。皆さんが社会で活躍されるために、大学生活を通じて、自身の「心」を広げ、「教養」を身に付け、大きく成長されることを期待しています。



地域の魚食文化を提案 ～まちづくりコンペティション受賞～

2月23日、はっちひろばにて、八戸都市圏スクラム8「学生&高校生まちづくりコンペティション」が開催され、「地域の食産業を結んだ魚食文化の提案」（八戸工業大学クリエイターズポート／おさかなパン・プロジェクト）が特別賞を受賞した。また、本学から魚食文化や縄文文化をテーマに2団体が参加、地域連携と魅力ある資源の活用を提案した。

代表の斗沢愁さん（創生デザイン学科3年（当時）／十和田



工高）は「衛生管理や出店許可書など普段体験することのない手続き等で苦労した。このプロジェクトを通じ、多くの方と交流ができ人と人の繋がりがや優しさを実感できた事が何よりの成果だった。」と語った。



ロボット工学プログラム 学科を越えて2020年度開設

AIやIoT技術などが急速に発展し、自律的に動作するロボットは産業を中心として、人に代わる作業機能を求める多様な分野で希求されている。これを受けて、学科を横断して学べる教育プログラムを2020年度に開設する。機械工学科は主に動作分野、電気電子工学科は信号処理通信分野、システム情報工学科は知能制御分野を専門的に研究しており、各専門分野の学び・資格支援を通して、3学科に機能を統合してロボット工学に関わるコア技術を修得するのが本プログラムの目的である。学生は、所属する学科以外の2学科でも単位を取得することができ、卒業時にはプログラム修了証が授与される。



2018年度学位記授与 ～卒業に寄せて～

振り返ると、4年間は本当にあっという間でした。右も左も分からず、大学生活に不安を抱いていたことを、つい昨日のこのように思い出します。専門分野のさまざまな実習や実験、教育実習、卒業研究に明け暮れた日々など大学で得た知識や経験が私を成長させてくれました。また、八戸の生活で築けた交友関係が大学生活を充実したものにしてくれました。



大学生活での一番の思い出は、部活動です。私(写真後列中央)はバレーボール部に所属し、良い結果を残せた時期もあれば、思うように結果を残せない時期もありました。「禍福は糾える縄の如し」とはこのこと。しかし、私にとっては目標に向かって努力を積み重ねた時間、辛いことや楽しいことを先輩や後輩、同期と共有できたこと、部活動を通して築けた人脈など、すべてが思い出であり財産でもあります。

卒業後、私は講師として教育の現場に携わります。学んだ専門知識を生かすのはもちろんのこと、大学生活で培った考え方や経験を生かし、生徒の学校生活を豊かなものにし、生徒の将来に良い影響を与えられるような教育者になりたいと思います。そのためにも、向上心を忘れることなく、日々精進していきたいと思っています。

2018年度 機械工学科卒業 玉田 琢巳(弘前工高)

白鳥とコアマモの生態調査 ～平内町への地域貢献～

「平内町白鳥を守る会」と共同研究し提案した「青森県平内町小湊におけるハクチョウ類とコアマモの生態調査」が、調査研究支援プロジェクト(NPO 法人バードリサーチ主催)より研究助成を得た。ハクチョウの渡来地として国の特別天然記念物に指定されている平内町の浅所海岸をフィールドに、ドローンによる空撮を駆使しながら、ハクチョウの主要な餌であるとされる海草の一種コアマモの分布・季節変化の把握、様々な環境要因の変化に応じた「ハクチョウ類の分布マップ」の作成を目指す。このプロジェクトはクラウドファンディングを採用しており、寄付の投票により支援金が決定する。本研究には2018年12月上旬から2019年2月末までに多くの投票が寄せられ、全国10件の応募中、第2位の投票数を獲得することができた。ご支援いただいた方々に感謝すると共に、実りある成果報告ができるよう努めていく。



2018年度 生命環境科学科卒業 佐藤 史幸(田中研究室:八戸工大二高)

元酒蔵を会場に創生デザイン学科卒展

2月1日～6日、八戸酒造煉瓦ホール・北蔵2階にて創生デザイン学科「卒業制作・論文学外展」が開催された。元酒蔵を卒展会場とするのは学科・八戸酒造双方にとって初の試み。オープニングセレモニーでは鏡開きと乾杯で華やかに開幕を祝った。歴史を感じる木造の重厚な蔵空間を舞台に、地域デザイン、ビジュアルデザイン、リビングデザイン、アートなど幅広い研究成果が展示され、期間中多くの市民が見学に訪れた。

創生デザイン学科では、地域で学ぶデザイン、地域に活かすデザインを目指し、地域社会と連携した協創型の教育研究を進めているが、卒業研究にも地域資源の新しい活用提案や地域の問題解決をテーマとしたものが見られ、来場者の関心をひきつけていた。



2018年度学チャレ成果発表会 ～「HIT-KIT PROJECT」エジソン倶楽部、最優秀賞～

3月1日・2日、八戸ポータルミュージアムはっちにて2018年度「八戸工業大学学生チャレンジプロジェクト事業」成果発表会が開催された。会場では、学生自らが企画実施した研究・地域貢献などのプロジェクトについて発表があり、



訪れた市民に対し、各チームが取り組んだ活動について説明を行った。学長等の選考により、以下が受賞した。

最優秀賞：エジソン倶楽部「HIT-KIT PROJECT」

優秀賞：ぐっ JOB 2018「鉄道 BIG 8」

八戸工業大学硬式野球部「岩手県三陸地方での野球教室ならびに階上町での雪かきによる地域支援プロジェクト」

Best of challenge賞：八戸工業大学方言研究会「方言コミュニケーションプロジェクト」

課外活動を称える

学生の課外活動の功績を称え、2月15日、八戸シーガルビューホテルにて、「2018年度課外活動表彰伝達式」が開催された。また、長年の指導の功績を称え板垣恵美子氏(女子硬式庭球部)、畑中広明氏(アーチェリー部)、田島尚幸氏(アイススケート部(ホッケー部門))に指導者功労賞が贈られた。(下記学年は、受賞年度)

体育会

特 別 賞
【学 長 賞】 卓球部
【保護者後援会会長賞】 軟式野球部

団 体
【優 秀 賞】 卓球部、軟式野球部
【敢 闘 賞】 アイススケート部(ホッケー部門)
【努 力 賞】 アーチェリー部

個 人
【優秀選手賞】

蛭名 魁(ソフトテニス部/システム情報工学科1年/八戸工大一高)
菅原 涼太(硬式野球部/土木建築工学科4年/秋田・秋田商高)
本田 一祥(卓 球 部/土木建築工学科4年/福島・帝京安積高)
差波 維(卓 球 部/電気電子工学科4年/八戸工高)
上野 武蔵(卓 球 部/電気電子工学科3年/六ヶ所高)
桂 駿介(卓 球 部/土木建築工学科1年/岩手・宮古工高)
道上 廉(卓 球 部/土木建築工学科1年/岩手・一関第二高)
澤上亜羅樹(バレーボール部/電気電子工学科4年/五所川原工高)
玉田 琢巳(バレーボール部/機 械 工 学 科4年/弘前工高)
小笠原太郎(バレーボール部/システム情報工学科4年/弘前工高)
笠井 亮治(バレーボール部/土木建築工学科4年/五所川原工高)
矢幅 祐真(バレーボール部/土木建築工学科4年/八戸工大一高)
【敢闘賞】
川嶋 峻汰(バレーボール部/機 械 工 学 科3年/五所川原工高)
上田 洗樹(バレーボール部/機 械 工 学 科2年/八戸工大一高)
円子 彪我(バレーボール部/土木建築工学科2年/八戸工大一高)
太田 優希(硬式野球部/機 械 工 学 科4年/八戸工大一高)
工藤 甲斐(硬式野球部/機 械 工 学 科4年/黒石商高)
貝森龍之介(硬式野球部/電気電子工学科4年/秋田・大館工高)
沢口 奨悟(アイススケート部(ホッケー部門)/機械工学科4年/八戸西高)
田名部一希(アイススケート部(ホッケー部門)/機械工学科4年/八戸西高)
藤原 楓(アイススケート部(ホッケー部門)/土木建築工学科4年/八戸学院光星高)
吉田 優太(アイススケート部(ホッケー部門)/土木建築工学科4年/八戸西高)
木村 皇介(アイススケート部(ホッケー部門)/土木建築工学科4年/八戸工高)
住澤 和寿(アイススケート部(ホッケー部門)/電気電子工学科4年/八戸工高)
松見 泰勝(軟式野球部/土木建築工学科3年/青森工高)
坂井 友哉(軟式野球部/機 械 工 学 科4年/八戸工大一高)
根本 知征(軟式野球部/機 械 工 学 科3年/福島・聖光学院高)

【新人賞】
白石 雄大(バレーボール部/土木建築工学科1年/岩手・黒沢尻工高)
中野 駿樹(軟式野球部/土木建築工学科2年/弘前実高)

【努力賞】
船渡 蒼平(弓 道 部/電気電子工学科4年/八戸工高)
秋元 洗人(弓 道 部/土木建築工学科4年/金木高)
風穴 優樹(弓 道 部/システム情報工学科4年/八戸工高)
古川 政輝(男子硬式庭球部/システム情報工学科4年/五所川原工高)
三浦健太郎(男子硬式庭球部/土木建築工学科4年/八戸西高)
中村 英成(男子硬式庭球部/土木建築工学科4年/八戸工大二高)
橋本康太郎(ソフトテニス部/創生デザイン学科4年/八戸工大一高)
千野 謙吾(バドミントン部/電気電子工学科4年/木造高)
小笠原 亮(バドミントン部/生命環境科学科4年/南部工高)
熊谷 匡将(バドミントン部/生命環境科学科4年/岩手・花巻農高)
笹森 祐輝(バドミントン部/生命環境科学科4年/木造高)
一沢 新(バドミントン部/システム情報工学科4年/岩手・福岡高)
佐々木遼太(バドミントン部/システム情報工学科4年/三戸高)
酒井 大将(軟式野球部/土木建築工学科4年/弘前中央高)
東野 誠也(軟式野球部/機 械 工 学 科4年/八戸工大一高)
越澤澤未来(アイススケート部(ホッケー部門)/創生デザイン学科4年/八戸工高)
渡邊 秀生(ソフトボール部/土木建築工学科4年/宮城・仙台城南高)
上村 諭史(山 岳 部/土木建築工学科4年/八戸工大一高)
清川 颯(山 岳 部/土木建築工学科4年/八戸工大一高)
尾崎 隆盛(バレーボール部/生命環境科学科3年/八戸工大一高)



中野 優太(サッカー部/生命環境科学科4年/岩手・軽米高)
武藤 裕也(ピリヤード部/システム情報工学科4年/八戸工大二高)
秋山真太郎(硬式野球部/機 械 工 学 科4年/八戸工大一高)
鎌田 嵩也(硬式野球部/土木建築工学科4年/五所川原商高)
根本 采佳(硬式野球部/土木建築工学科4年/岩手・北上翔南高)
上村賢一朗(アーチェリー部/土木建築工学科4年/八戸工大一高)
小沢 混平(バスケットボール部/システム情報工学科4年/八戸工大一高)
新山 亮太(バスケットボール部/機 械 工 学 科4年/六戸高)
且 隆明(空 手 道 部/土木建築工学科4年/三沢高)
杉山 敏紀(空 手 道 部/機 械 工 学 科4年/青森商高)
麥澤 尚訓(NU vivance(ストリートダンス愛好会)/システム情報工学科4年/岩手・久慈高)
池田 良太(NU vivance(ストリートダンス愛好会)/生命環境科学科4年/岩手・不來方高)
橋本 憲二(フットサル研究同好会/土木建築工学科4年/八戸北高)

文化会

特 別 賞
【学 長 賞】 映像研究部
【保護者後援会会長賞】 音楽研究部
【文化会顧問会会長賞】 古倉あゆみ(機械・生物化学・博士前期2年)

団 体
【特別文化賞】 映像研究部
【優 秀 賞】 音楽研究部、動力研究部、ADL(建築デザイン研究会)
【敢 闘 賞】 合唱部、美術研究部

個 人

【優秀賞】
佐々木汰一(文芸愛好会/生命環境科学科3年/岩手・釜石高)
高力 和馬(音楽研究部/土木建築工学科4年/宮城・石巻工高)
澤口 潤(音楽研究部/創生デザイン学科4年/八戸工大二高)
杉山 泰斗(ADL(建築デザイン研究会)/土木建築工学科4年/大間高)
【敢闘賞】
久慈 彩華(漫画研究会/創生デザイン学科1年/八戸工大二高)
【リーダーシップ賞】
笠井 勇佑(音楽研究部/土木建築工学科3年/北海道・名寄高)
佐々木ハヤテ(音楽研究部/創生デザイン学科3年/秋田・西目高)
大山 瑠輝(動力研究部/システム情報工学科3年/八戸工大一高)
北向 佑気(動力研究部/機 械 工 学 科3年/むつ工高)
瀬川 佳菜(合 唱 部/システム情報工学科3年/岩手・盛岡第二高)
佐野 史知(プラモデル研究会/機 械 工 学 科3年/五戸高)
宮崎 和貴(プラモデル研究会/電気電子工学科3年/八戸工高)
古澤 遼(メカトロニクス研究会/機 械 工 学 科3年/田名部高)
田中 雅人(メカトロニクス研究会/機 械 工 学 科3年/田名部高)
三津谷隆希(将 棋 部/電気電子工学科3年/青森西高)
福山 泰勇(将 棋 部/電気電子工学科3年/八戸西高)
佐々木崇志(ADL(建築デザイン研究会)/土木建築工学科3年/青森工高)
館山 真洋(ゲーム研究部/土木建築工学科3年/青森高)
濱浦 匠(ゲーム研究部/機 械 工 学 科3年/北海道・星槎国際高)
【努力賞】
清川 裕(映像研究部/システム情報工学科4年/八戸工大一高)
磯谷 晴規(映像研究部/システム情報工学科4年/八戸西高)
岡村 康希(映像研究部/システム情報工学科4年/青森北高)
阿部 貴弘(映像研究部/システム情報工学科4年/青森北高)
佐藤 利樹(映像研究部/システム情報工学科4年/八戸西高)
長谷川舞実(茶道愛好会/創生デザイン学科4年/弘前工高)
前田麗依華(茶道愛好会/創生デザイン学科4年/弘前工高)
工藤 留菜(茶道愛好会/生命環境科学科4年/弘前工高)

卒業生学科別表彰

【機械工学科】

◇崑山賞、学長賞、学科長賞（卒業研究）

玉田 琢巳（弘前工高）

◇学科長賞（卒業研究）

大高 貴文（弘前中央高）
佐藤 光真（十和田工高）
松村 直斗（八戸工大一高）
松橋 一聖（秋田・大曲工高）
澤口 志信（八戸西高）
松尾 拓弥（八戸水産高）
下斗米宏太（八戸工大一高）
東野 誠也（八戸工大一高）

◇学科長賞（資格取得）

澤口 志信（八戸西高）
市沢 謙介（八戸北高）
上野 滯弥（八戸工大一高）
茂木 憲人（秋田・大館鳳鳴高）
杉山 敏紀（青森商高）
清水 栄伸（八戸工大一高）
田名部一希（八戸西高）
高野 圭介（宮城・聖和学園高・薬師堂）
三浦 真也（八戸工大一高）
山田 涼輔（八戸工大一高）
牧野 竜也（八戸学院光星高）
大池 勇輝（八戸工大一高）
工藤 風雅（三沢高）
谷坂 達哉（三戸高）
秋山 恭人（八戸工大一高）
奥村 幸司（八戸工大一高）
沢口 奨悟（八戸西高）
玉田 琢巳（弘前工高）
松村 直斗（八戸工大一高）

【電気電子工学科】

◇学長賞

八木田昂史（八戸西高）

◇工学部長賞

水梨 睦斗（南部工高）

◇学科長賞

葛西翔大朗（八戸北高）

◇卒業研究優秀賞

工藤 巧（南部工高）
八木田昂史（八戸西高）
松井 詠美（八戸東高）

◇卒業研究功労賞

浅野 友人（六ヶ所高）
砂庭 絃樹（八戸工大一高）
小路 唯太（八戸高）
船渡 蒼平（八戸工高）
葛西翔大朗（八戸北高）
石鉢 哲（八戸工高）
高橋 直哉（八戸工大一高）
上平 大貴（八戸工高）

◇電気学会学生表彰

差波 維（八戸工高）

◇電子情報通信学会学生表彰

石鉢 哲（八戸工高）

◇水交会展賞

八木田昂史（八戸西高）

【システム情報工学科】

◇優秀学生賞・学科長賞

村田 遥菜（八戸北高）

◇優秀学生賞・卒研賞

磯谷 晴規（八戸西高）
阿部 貴弘（青森北高）
岡村 康希（青森北高）
瀬川 武史（十和田工高）
原田 晃静（木造高）
風穴 優樹（八戸工高）
柴田 燎（秋田・西仙北高）
一沢 新（岩手・福岡高）
神山 航（八戸東高）
吹田 悟（八戸工大一高）

◇優秀学生賞・資格賞

風穴 優樹（八戸工高）
坂本 陵（八戸工大二高）
下斗米一真（八戸北高）
奈良 豪士（青森工高）
成田 聖司（五所川原工高）

佐藤 利樹（八戸西高）

【生命環境科学科】

◇学長賞

佐藤 史幸（八戸工大二高）

◇学科長賞

中野 優太（岩手・軽米高）

◇功労賞

熊谷 匡将（岩手・花巻農高）
佐藤 ななみ（岩手・水沢高）

◇卒業研究優秀賞

池田 泉（八戸東高）
木村 太一（岩手・岩手高）
工藤 留菜（弘前工高）
斉藤 豊輝（八戸西高）
佐川保乃香（八戸東高）
千葉 叶佳（岩手・大船渡高）
中村 子竜（秋田・能代高）
原 修平（八戸西高）

【土木建築工学科】

◇最優秀賞

橋本 憲二（八戸北高）

◇優秀賞

山田 千鶴（十和田工高）
堀合 紳弥（岩手・宮古工高）
廣瀬 璃子（五戸高）

◇最優秀発表賞

野沢 彩乃（高卒認定）

◇優秀発表賞

根本 采佳（岩手・北上翔南高）

◇最優秀設計賞

杉山 泰斗（大間高）

◇功労賞

秋元 洸人（金木高）
和賀 央晟（秋田・湯沢翔北高）

【創生デザイン学科】

◇学長賞

米澤 香織（青森西高）



◇学部長賞

渡辺 葵（木造高）

◇学科長賞

長谷川舞実（弘前工高）

◇努力賞

上野 黎香（八戸東高）
角掛 優羽（盛岡北高）
最上 雅（青森中央高）

◇功労賞

鈴木 真美（三沢高）
濱道 奏絵（八戸工大二高）
前田麗依華（弘前工高）

◇最優秀制作賞

米澤 香織（青森西高）

◇最優秀論文賞

越懸澤未来（八戸工高）

◇優秀制作賞

最上 雅（青森中央高）

◇優秀論文賞

濱道 奏絵（八戸工大二高）

【社会基盤・博士後期】

◇特別賞

功刀 智（社会人／鉄建建設㈱）

【社会基盤・博士前期】

◇優秀論文賞

坂本 光志（八戸工大一高）
盛 健太郎（八戸北高）

サークル紹介

音楽研究部

音楽研究部は現在14名の部員がおり、それぞれが自由な時間に作詞、作曲、楽器の練習に励んでいます。成果発表として月1回の学内ライブを開催し、会場設営、音響機器の扱い方など、「現場で動けるアーティスト」をめざし活動しています。

昨年、部員の中には、県内外のライブハウスでのライブやイベント、オーディションに参加する人もいて、「BANDWARS」のファイナリストにノミネートされたり、オーディションを突破して「ミュージックレビュー八戸」へ出演したりしました。

学園祭では、さながらライブハウスにいるような感じでステージを楽しんでもらえるよう工夫し、企画ライブでは県外からもバンドを呼び、参加者が来てよかったと思えるイベントを作り、地元八戸を盛り上げていきたいと取り組んでいます。

部長 佐藤 颯人（システム情報工学科3年／八戸工大一高）



学生ムービーコンテスト

東北電力主催の「TOHOKU LOVE 2018 GAKUSEI MOVIE CONTEST」の審査会が、2月9日せんだいメディアテークにて行われ、全38作品から私達チームの作品「現代縄文人」が特別賞に選ばれた。「TOHOKU LOVE ～東北・新潟をもっと好きになる、愛にあふれるショートストーリー～」がテーマの、学生が制作した30秒から180秒の動画が、郷土愛・話題性・創造性の審査基準のもと公開審査された。

作品づくりは情報専門ゼミナールの授業の一環として、シナリオ作り、撮影許可の取得、動画撮影、編集など行った。シナリオには、電気に注目した内容で八戸の良さを面白く伝えたいと、電気を知らない縄文人を主人公に、日本一の朝市、工場地帯の夜景など、八戸の特色を多く詰め込んだ。

公開審査では、審査員や他の制作者の方から多くのコメントやお褒めの言葉をいただいた。作品完成まで、先生の助言や地域の方の快い協力、一般投票に参加いただいた方に、感謝します。

代表 小比類巻 俊（システム情報工学科3年／三沢高）



「3.11防災フォーラム2019」開催 ～北海道胆振東部地震から学ぶ～

3月11日、八戸市津波防災センターにて、「3.11防災フォーラム2019」が開催され市民約100名が参加した。

北海道胆振東部地震と被害について、室蘭工業大学教授木幡行宏氏と日本工営(株)橋本和明氏が、それぞれの専門分野から講演を行った。この地震の特徴は、地滑り斜面崩壊、平地の液状化（流動化）など堆積した火山灰が影響していることである。ハザードマップと被害地域が一致していることから、防災対策の強化が必要とのことであった。

ショートレクチャーでは、八戸市から市が取り組む災害時相互応援と厚真町への支援活動が報告され、八戸学院大学と本学からは、地域活性化と市民ができる防災への備えについて発表があった。



南部弁をアプリで楽しもう

方言研究会では、方言の理解度アップと継承、若者と高齢者の意思疎通につながようと、方言翻訳アプリケーション「OK,Hougen」の開発に取り組んでいる。マイクに向かって標準語を話すと南部弁の音声が出てくれるというもので、音声波形も見ることができる。地域の様々なイベントに参加し、方言アプリを使用した南部弁の体験会を行っている。例えば「おやつ」は「コビリック」、体験会では初めて聞いたという人もいたという。南部弁は地域によって微妙な違いがあり難解であるため、南部弁から標準語への逆変換は難しく、開発途上とのこと。研究会メンバーは、スマホアプリへのバージョンアップと実用化に向け改良を続けたいと語った。



オープンデータ活用イベント

3月2日、誰もが自由に使うことができるオープンデータを作ったり、使ったり、考えたりするイベント「インターナショナル・オープンデータ・デイ・2019」が世界中の都市で同日開催され、八戸会場と青森会場をネットワークで結んで実施された。

八戸会場の本学メディアセンターでは、ワークショップと青森県オープンデータ利活用人材育成講座の成果発表が行われ、青い森オープンデータカタログを活用した観光・施設アプリなどが紹介された。開発した学生は、「作成したアプリに、動画・ミニゲーム・クイズを加えるなど開発を進めたい」と今後の豊富を述べた。



教職員ワークショップ開催

～学生の自主的学修へクラウドサービス活用～

インターネットの普及により、教育・研究機関でのITサービスを活用した取り組みが進められている。本学でも、学生の自主的学修活動を推進するため、2月26日教職員対象のワークショップが開催された。ワークショップでは、学生



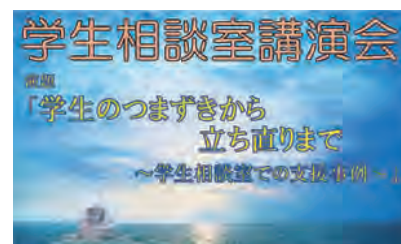
が任意の時間・場所から利用できるクラウドサービス（Google Colaboratory）を活用した授業展開やHIT-LMS（Moodle）を用いた取り組みが紹介され、参加者はクラウドサービスによる機械学習やHIT-LMSとスマートフォンを用いた理解度チェックなどを体験し、意見交換等を行った。

学生相談室講演会

2月19日、本学多目的ホールにて「学生のつまずきから立ち直りまで」と題し、非常勤相談員渡邊一弥氏と盛田沙織氏を招いて学生相談室講演会が開催された。これは教職員研修会として毎年開催されている。今回は、様々な悩みを抱える学生のつまずきに対し、どのように支援を行ったか事例を交えた講演がされた。

渡邊氏からは、学生の自己肯定感を高める関わりとして、学生と教職員の信頼関係の築き方等のアドバイスがあった。盛田氏からは、支援する教職員間での情報共有やハローワーク等外部機関と連携し、就職・卒業へ向け支援を継続していくことが好ましいと提案があった。

出席した教職員から「とても参考になった」「もっと聞きたかった」という感想があり、関心の高さがうかがわれた。



退職教職員

若 生 豊	教 授 (生命環境科学科)
佐 野 公 朗	教 授 (基礎教育研究センター)
西 村 順 子	教 授 (生命環境科学科)
三 浦 雅 展	准教授 (システム情報工学科)
太田口 和 久	特任教授
小 林 南	書 記
今 伸 一	主 事 (嘱託)
大 内 吉 栄	警備員 (嘱託)
田 中 睦 夫	警備員 (嘱託)
寺 井 孝 男	技 師 (嘱託)

進学相談会日程

開催日	開催時間		開催地	会 場
	開始	終了		
5月9日(木)	14:30	18:30	八戸	八戸グランドホテル
5月10日(金)	15:00	18:30	秋田	アルヴェ
5月14日(火)	15:00	18:30	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
5月17日(金)	15:30	18:30	弘前	アートホテル弘前シティ
5月17日(金)	15:00	18:00	秋田	アルヴェ
5月18日(土)	13:00	16:00	青森	リンクステーションホール青森
5月20日(月)	15:00	18:00	弘前	アートホテル弘前シティ
5月21日(火)	15:00	18:00	青森	リンクステーションホール青森
5月22日(水)	15:30	18:00	秋田	アルヴェ
5月22日(水)	15:00	18:00	八戸	八戸プラザアーバンホール
6月10日(月)	15:30	18:30	八戸	八戸プラザアーバンホール
6月17日(月)	15:00	18:00	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
6月24日(月)	15:00	18:30	仙台	仙台サンプラザホール
6月26日(水)	13:00	17:30	盛岡	盛岡タカヤアリーナ
7月18日(木)	15:00	18:00	秋田	アルヴェ
8月30日(金)	15:30	18:30	秋田	アルヴェ

新任教員紹介



ほし の たもつ
星 野 保
(生命環境科学科・教授)



いし やま たけし
石 山 武
(電気電子工学科・教授)



つち や たく や
土 屋 拓 也
(基礎教育研究センター・講師)



にし お ひろ き
西 尾 洸 毅
(土木建築工学科・助教)

夏のオープンキャンパス

■開催日

7月21日(日)、8月4日(日)

■プログラム

学科体験、キャンパスツアー、大学周辺バスツアー、
保護者向けガイダンス、学食体験、学科紹介ブース、
各種相談コーナー など



詳細は決定次第本学ホームページでお知らせいたします。
お問い合わせ：0120-850-276 (入試課フリーダイヤル)

2020年度入学試験日程

クール		エントリーカード受付期間(必着)	面 談 日
第1クール		9月1日(日)～9月13日(金)	9月21日(土)
第2クール		11月15日(金)～11月22日(金)	11月30日(土)
第3クール		1月27日(月)～1月31日(金)	2月10日(月)
第4クール		3月1日(日)～3月6日(金)	3月12日(木)
入 試 区 分		願書受付期間(必着)	試 験 日
推薦入学試験	指定校制	11月1日(金)～11月8日(金)	11月16日(土)
	公 募 制	11月25日(月)～12月11日(水)	12月16日(月)
一般入学試験	前 期	1月6日(月)～1月24日(金)	2月4日(火)
	後 期	2月17日(月)～2月28日(金)	3月6日(金)
センター利用 入学試験	前 期	1月6日(月)～1月28日(火)	2020年1月18日(土)・ 1月19日(日)の 大学入試センター試験
	中 期	2月1日(土)～2月14日(金)	
	後 期	3月1日(日)～3月19日(木)	

八戸工業大学体育館耐震補強工事

文部科学省が進める学校施設の耐震対策に伴い、八戸工業大学体育館の耐震補強工事を2019年5月下旬から2020年2月末の予定で実施します。

今回の工事は、耐震補強と合わせてバリアフリーに対応した出入口スロープ・多目的トイレの設置などを行います。また、照明器具を水銀灯からLED照明器具に交換し、省エネルギー化に向けた取組を行います。



第61回入学式

4月7日、多数の来賓・保護者をお迎えし、第61回入学式が挙行された。新入生255名を代表し、東淳之介君（普通科1年／岩手・中野中）が「1日、1日を大切に、新時代を生きる、素晴らしい一高生になる」と田名部俊成校長へ高校生活への決意を宣誓した。

新入生のみなさんへ

～心新たに～

1学年主任 倉田 利章

4月7日、第61回入学式が挙行され、今年も多くの新入生を迎えることが出来ました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。1学年スタッフ一同、皆さんを心より歓迎いたします。

本校は、就職希望者において毎年100%の就職率を達成しております。また、学年の約半数が進学を希望し、国公立大学や八戸工業大学をはじめとして、多くの有名大学への進学実績を上げてきました。先輩たちは、文武両道で、学業においては必要な知識を身に付け、部活動においては強い精神力と体力を鍛え、多くの実績を残してきました。また、様々な学校行事の中で友人とのコミュニケーションを図り、充実した高校生活を過ごし、巣立っていきました。

新入生の皆さんには、そういった本校の特色を理解し、輝かしい未来に向かって自分磨きに励んでいただきたいと思います。大事なことは、皆さんがしっかりと目標を持ち、本校で力をつけ、いかにその目標を達成していくかです。その経験が、人生を切り開いていく力になると思います。

人生には何度かの節目があります。まさに今がその節目の一つだと思えます。中学生時代に経験したことを糧にして、心新たに、新しい目標を持って頑張りましょう。我々工大一高のスタッフは、皆さんを応援し、全力でサポートします。共に頑張りましょう。3年間よろしく願いいたします。

平成30年度部活動父母・顧問研修会



2月9日、八戸プラザホテルにおいて、部活動父母・顧問研修会が行われた。講師に、奈良・薬師寺の僧侶加藤大覺（かとう たいかく）氏を招き、「お経に学ぶベストの尽くし方」と題して、父母・顧問ら約100名の前で講演して頂いた。

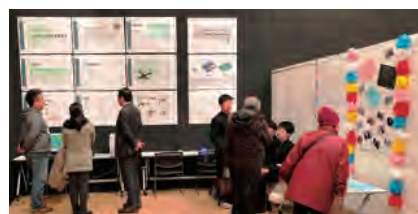
講演では、「ジャータカ」というお経の中から「小鳥の消火

活動」という一節を紹介した。「仏教は『できないことをやらない』ではなく、『できることを懸命にやり続けなさい』という教え」とし、「自分の立ち位置を理解し、その人に合ったベストの尽くし方がある」と呼び掛けた。また、「人間はうまくいかないと人のせいにするもの」と指摘した。「まずは自分自身を省みることが大切」と説いた。

今回の研修会で学んだ「継続」「自分を省みる」等を念頭に置き、父母・顧問が大切に人生を歩んでいくことで、子供達も実践できることを願っている。機会があれば是非もう一度講演を拝聴したいと強く感じた研修会であった。

第38回 三部展+1

1月26日、三部展+1が八戸ポータルミュージアムはっちのシアター2で行われた。写真部・美術部・放送部の三部に加え、パソコン部、JRC部、ものづくり部が参加した。各種コンテストに入賞した作品展示や日頃の活動紹介が、主な内容となった。とりわけ、来場者の注目を集めたのは、ドローンのシミュレータ展示や全国高等学校ロボット競技青森県大会に出場したロボットの実演などであった。来場者から「運動部の活動は有名だが、文化部の活動も知る良い機会だった。」などの感想をいただいた。生徒は地域の方々に日頃の活動を伝えることができ、さらに各分野に興味



がある方々からは貴重な助言や励ましの言葉もいただくことができた。

青森県スポーツ関係受賞者

青森県高等学校体育連盟	
〈高体連優秀選手賞〉	
水泳(男女)	山下 諒 (進学コース3年/堀口中)
	成田 雄斗 (進学コース3年/弘前三中)
	今泉 沙彩 (進学コース3年/十和田中)
ソフトテニス	畠山 七瀬 (総合コース3年/三本木中)
	繁 皓介 (進学コース3年/三本木中)
剣道	底田 尚弥 (総合コース3年/七戸中)
レスリング	黎 (進学コース3年/白山台中)
登山	上平 裕也 (進学コース3年/八戸東中)
自転車	角地山武尊 (機械コース3年/大館中)
ボウリング	佐々木 駿 (建築コース3年/八戸東中)
	高坂 雄斗 (進学コース3年/小中野中)
ゴルフ(男女)	千葉 楽 (進学コース3年/宮城・湊中)
	千葉龍太郎 (総合コース3年/秋田・山田中)
	横山 もも (総合コース3年/宮城・稲井中)
	工藤 楓佳 (機械コース3年/磐城・津中)
青森県高等学校野球連盟	
〈高野連優秀選手賞〉	
硬式野球	高山 大輔 (総合コース3年/七戸中)
青森県体育協会	
〈優秀選手賞〉	
スケート	廣谷 帆香 (進学コース3年/八戸二中)
アイスホッケー	本間康之介 (進学コース3年/新潟・柏崎二中)
	寺地 智哉 (進学コース3年/湊中)
	山口 琢也 (進学コース3年/宮城・長命ヶ丘中)
	古館 叶夢 (進学コース3年/八戸二中)

富田	詢人 (進学コース2年/大阪・摂陽中)
小林	大介 (進学コース2年/東京・東大和二中)
吉野	訓平 (進学コース2年/八戸二中)
笹川	征康 (進学コース2年/八戸二中)
大坊	晃己 (進学コース2年/湊中)
川岸	潤 (進学コース2年/北稜中)
佐曾谷	哉太 (進学コース2年/東京・花小金井中)
大塚	椋 (進学コース2年/千葉・高洲一中)
山下	諒 (進学コース3年/堀口中)
小山内	元気 (進学コース2年/中里中)
武部	優希 (建築コース3年/階上中)
榎本	翔斗 (進学コース3年/八戸東中)
小泉	蓮 (総合コース3年/千歳中)
西館	黎 (進学コース3年/白山台中)
福士	陽斗 (建築コース3年/榎城中)
尾崎	怜 (建築コース3年/八戸東中)
小川	颯太 (進学コース2年/十和田東中)
太田	優香 (建築コース3年/倉石中)
齋藤	美姫 (普通科1年/十和田東中)
藤春	柚香 (情報コース3年/湊中)
ラグビー	
〈県スポーツ奨励賞〉	
水泳	
ソフトテニス(男女)	
中山	義仁 (進学コース3年/八戸二中)
七瀬	皓介 (総合コース3年/三本木中)
豊田	皓介 (進学コース3年/三本木中)
高杉	かりん (進学コース2年/板柳中)
工藤	芽依 (普通科1年/中里中)
山本	大翔 (情報コース3年/大間中)
剣道	

春の全国大会出場部

水泳部 (3/26~30)	第41回 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 (東京都江東区・東京辰巳国際水泳場)
剣道部 (3/25~31)	第48回 剣道旗争奪全国高校勝抜剣道大会 (秋田県秋田市・県立武道館)
ボウリング部 (3/21~23)	第22回 全国高等学校ボウリング選手権大会 京都大会 (京都府宇治市・キョーイチボウル宇治)
自転車競技部	九州チャレンジャーズサイクルロードレース2019 (3/16)
平成30年度全国高等学校選抜自転車競技大会 (3/21~24)	(福岡県北九州市・熊本県五木村)
レスリング部	第62回 風間杯全国選抜レスリング大会 (3/26~29) (新潟県新潟市・新潟市体育館)
平成31年度JOC杯ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会 (4/2,3)	(東京都世田谷区・駒沢体育館)
ソフトテニス部	第53回 全日本私立高等学校選抜ソフトテニス大会 (3/20~22) (神奈川県横浜市・横浜国際プール)
第53回 全日本私立高等学校選抜ソフトテニス大会 (3/18~20)	(神奈川県横浜市・横浜国際プール、東京都世田谷区・駒沢オリンピック公園)
第44回 全日本高等学校選抜ソフトテニス大会 (3/27~30)	(愛知県豊田市・スカイホール豊田)
ボクシング部 (3/24~28)	第30回 全国高等学校ボクシング選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップ (群馬県前橋市・ALSOKぐんま総合スポーツセンター)
バレーボール部 (3/26~29)	第24回 全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会 (東京都八王子市・エスフォルタアリーナ八王子)
ゴルフ部 (3/25~29)	平成30年度全国高等学校ゴルフ選手権大会春季大会 (滋賀県甲賀市・富士スタジアムゴルフ倶楽部南コース)
アイスホッケー部 (3/30~4/1)	第25回 東日本高等学校選抜アイスホッケー大会 日光大会 (栃木県日光市・霧降アイスアリーナ)

第58回 卒業証書授与式

3月1日、保護者や多数の来賓をお迎えし、第58回卒業証書授与式が挙行された。木村樹君（進学コース／木ノ下中）が卒業生292名を代表して答辞を述べた。「部活動を通じて、色々な人に支えられている事を学んだ。また、学校行事は全校生徒の協力があってこそ成功である。さらに、3年間の高校生活を送る事ができたのは家族の協力



があったからで、言葉では言い表せないほど家族に感謝している。これからはなりたい自分に向かって努力を続けていく。」と高校生活の思い出を交えながら、仲間や先生への感謝の気持ちなども熱く語り、社会人としての決意を新たにしました。会場から惜しめない拍手がおくれ、卒業生は学び舎を後にした。

第58回卒業証書授与式 主な表彰者

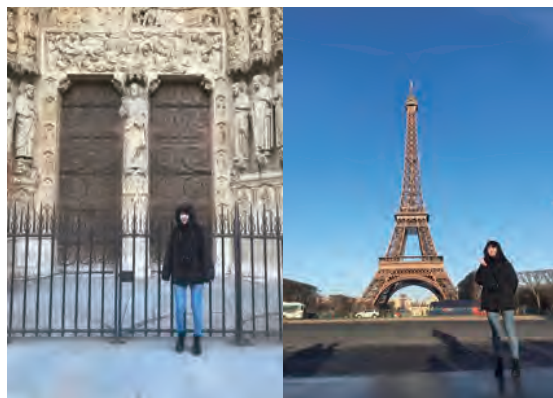
- ◆理事賞
今泉 沙彩(進学コース／十和田中)
廣谷 帆香(進学コース／八戸二中)
西館 黎(進学コース／白山台中)
- ◆校長賞
大原江里亜(進学コース／天間館中)
中山 義仁(進学コース／八戸二中)
- ◆日本私立中学高等学校連合会会長賞
石田 紘堂(電気コース／東北中)
- ◆青森県私立高等学校保護者会連合会会長賞
茨島 未来(情報コース／階上中)
- ◆青森県高等学校PTA連合会会長賞(12年間皆勤)
榎本 翔斗(進学コース／八戸東中)
榎田 美鈴(進学コース／白銀南中)
- 成田 雄斗(進学コース／弘前三中)
茨島 未来(情報コース／階上中)
浜田 祐矢(情報コース／八戸東中)
藤春 柚香(情報コース／湊中)
岩崎 光汰(機械コース／三条中)
関下 聖人(機械コース／白銀中)
上田 梨模(機械コース／八戸東中)
- ◆生徒会功労賞
木村 樹(進学コース／木ノ下中)
- ◆スポーツ特別賞
寺地 智哉(進学コース／湊中)
古館 叶夢(進学コース／八戸二中)
本間康之介(進学コース／新潟・柏崎二中)
山口 琢也(進学コース／宮城・長命ヶ丘中)
本多 健人(進学コース／北稜中)
米田 夏海(機械コース／八戸二中)

課題研究発表会

1月22日、工業科3年生による課題研究発表を実施した。工業科の情報・電子通信・電気・機械・土木・建築コースから7チームが発表した。その他に、三八地域県民局主催の『ものづくりまちの「しごと」と「くらし」発信事業』に参加した生徒が発表を行った。各コースからは、実習で製作を行った作品の紹介、浅瀬石川ダムの模型製作、廃材を利用したリサイクルについて、GPSを使った精密時計、JAVAによるゲーム、Raspberry PIを使ったミュージックボックスの発表があった。また、八戸工業大学と高大連携事業を実施している電気コースからは、県生徒の研究発表大会で発表した「バイオプラスチックの研究」を紹介した。



高校生による海外エネルギー事情研修会



1月28日～2月8日、欧州2か国（フランス・スウェーデン）で高校生対象の海外エネルギー事情研修会（青森県商工会議所連合会：主催）が行われた。青森県内の高校2年生を対象とし、希望者から6名が選ばれて実施され、本校から松橋以央和さん（情報コース2年／八戸東中）が参加した。研修会は、海外のエネルギー事情を学ぶだけではなく、両国の高校生との交流や文化遺産（モン・サン＝ミッシェル他）の見学等を通じて、国際的な感覚を養うことなどを目的としている。

◎松橋以央和さんの感想

私は、海外エネルギー研修会で12日間フランスとスウェーデンに行きました。研修の中でモン・サン＝ミッシェルやノートルダム寺院を訪れ、西洋文化に触れたり、放射線廃棄物貯蔵所などを見学し、原子力について学んだりしました。どちらの国でも現地の高校生と一緒にエネルギーについてディスカッションをしましたが、2つ驚いたことがあります。1つは日本の学生より

も意見がはっきりとしていること、もう1つは海外の高校生が日本のエネルギー構成について関心を持っていることです。つたない日本語と英語ではありましたが、有意義な時間を過ごすことができました。私は英語がほとんど話せない状況でヨーロッパへ行きましたが、ジェスチャーや単語で大体の事が伝わり、英語を話すのが初めて楽しいと感じました。夢に「海外」という選択肢ができて、嬉しく思います。

消防クラブ消防庁長官賞を受賞

3月23日、イイノホール&カンファレンスセンター（東京都）で本校の消防クラブが消防庁長官賞を受賞した。



少年消防クラブは、防火・防災意識の普及啓発を図ることを目的として、全国の小学生から高校生まで4,647校が活動している。その中でも、特に本校の防災活動は活発で継続的であるという実績が評価され、今回の受賞に至った。

参照URL
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01shoubou01_02000146.html

新任の先生

よろしくお願いします



佐藤 正視 先生 中村 智洋 先生 古坂 朋穂 先生
(工業科) (保健体育) (家庭)

第45回 入学式



4月6日、202名の新入生を迎えて、第45回入学式が行われた。式では明石進校長から「自分で選択した二高への入学。その選択を無駄にしないよう、何事にも目標を持って物事に取り組み、有意義な高校生活を送ろう」と激励の言葉が贈られた後、新入生代表の鈴木七海さん（カレッジコース／長者中）が、「開拓・創造・協力の校訓のもと、学習や学校行事など積極的に取り組みます。」と力強く宣誓した。

オーストラリア異文化体験プログラム

3月4日～15日の12日間、オーストラリア異文化体験プログラムが実施され、1、2年生の希望者44名がシドニーでホームステイと語学研修を行った。ホスト校の Williams Clarke College と St. Leo's Catholic College では、日本語を学ぶ生徒達から歓迎を受け、一緒に昼休みを過ごし、授業にも加わって交流した。語学研修では、会話練習の他、オーストラリアの希少生物や文化についてもゲームを交えながら学んだ。初めは緊張していた生徒も、慣れてくると、初秋の爽やかな気候やおおらかな街の雰囲気の中、のびのびと現地の生活を楽しんだ。週末はホストファミリーとビーチや中心街に出かけ、余暇を楽しんだ。最終日には日本の文化を現地校の生徒に紹介し、語学力に自信をつけた様子であった。



新入生の皆さんへ

～親守唄～

校長 明石 進



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校は地域に信頼される県内随一の私立高等学校進学校として確固たる地位を築いています。昨年度も一般受験で東北大学・東京藝術大学をはじめ、多数の国公立大学や有名私立大学に合格し、部活動でも輝かしい成果をあげています。これらは、授業だけでなく、部活動、生徒会活動、ボランティア活動、学外学習、海外研修など様々な体験活動を通して得られた力によって勝ち取ったものです。皆さんにも、積極的に校内・外の活動に参加して欲しいと考えています。

さて、高校生になったこの機会に保護者からの自立を考えてみませんか。今まで、思い通りにいかない時に感情を保護者につけていた行為は、赤ちゃんが駄々をこねているのと同じです。その時、保護者は子守歌を口ずさんでいるのです。これからは、皆さんが親守唄を歌う時期です。親守唄とは、朝元気に家を出て、勉強や部活動に汗を流し、友達と楽しく過ごし帰宅したとき「ああ今日も楽しかった」とでる言葉が親守唄です。保護者にすれば、そのことが何物にも替え難い言葉なのです。どうか、高校時代にたくさんの親守唄を歌ってあげて下さい。

イングリッシュビレッジ

3月6日～8日、国際教養大学主催の English Village が開催され、本校生徒36名が参加した。この3日間の到達目標は、英語でプレゼンテーションを行うことである。生徒はツールとしての英語の魅力に気づき、既習の語彙や文法でコミュニケーションを取る方法を学んだ。また、大学生のデモンストレーションをとおして、効果的なプレゼンテーションについて気づき、それを実践に生かす生徒が多く見られた。本番では、6つのグループに分かれて、各グループのアシスタント役の留学生の紹介を英語で行った。発表でつまった際には、発表者の後ろに控える「ウィスパー」役の生徒がしっかりアシストしながら、生徒たちは最後まで発表をやり遂げた。発表を終えた後の生徒の充実した顔が、特に印象的な学習会であった。



東北地区高P連広報誌コンクール 2年連続最優秀賞



本校 PTA が発行する広報誌「きらゝ」が2018年度東北地区高校 PTA 連合会広報誌コンクールで2年連続の最優秀賞を獲得した。「きらゝ」は、県のコンクールで応募総数47校の中から最優秀賞を受賞し、東北地区のコンクールに推薦された。6県3校ずつの作品の中から、表紙の大胆なデザインや記事の豊富さが評価され、最優秀賞に輝いた。

編集に携わった本校の PTA 広報・進路対策委員会のメンバーと柴田一則 PTA 会長は、「限られた紙面の中に、情報をどう詰め込むか悩んだ」「皆で協力して編集に取り組んできてよかった」と話していた。

第44回卒業証書授与式



3月2日、平成30年度第44回卒業証書授与式が挙行された。卒業生224名を代表して佐々木龍也君（カレッジコース／白銀中）が、明石校長から卒業証書を受け取り、金濱慎吾君（カレッジコース／長者中）が卒業生代表答辞を述べた。金濱君は、受験や学校行事、部活動を通して成長した3年間を振り返り、両親や先生、友人達への感謝の気持ちとともに、旅立ちの決意を誓った。

表彰者

理事長賞

生徒会活動功労賞 スポーツ特別功労賞

文化特別功労賞 特別活動功労賞

太田蓮	田賀明日香	蓮	(八戸東中)
加賀	明若奈	明若奈	(三本木中)
遠藤	藤麻緒	藤麻緒	(白銀南中)
小上	西未樹	西未樹	(江陽中)
小野	未宥	未宥	(階上中)
小川	凛	凛	(湊中)
佐々木	汐	汐	(是川中)
遠下	風太	風太	(階上中)
千野	未空	未空	(階上中)
佐々木	友美	友美	(階上中)
		ロミーナ	(白銀南中)
渡邊	実夢	実夢	(八戸三中)
木村	留寧	留寧	(八戸一中)
葛西	七海帆	七海帆	(八戸一中)
加賀	明日香	明日香	(三本木中)
小山内	柚月	柚月	(白山台中)
葛西	七海帆	七海帆	(八戸一中)

合格者メッセージ

太田蓮君
(八戸東中)
合格



合格発表は大学のホームページで見ました。本当に自分の番号なのか不安で堪らなかったのですが、担任の先生からの連絡や合格通知が届いて合格の実感が得られました。高校での成績は下位からのスタートでしたが、3年間一度も成績を下げずにこられたのが自信となりました。大学では日本史を研究していきたいと考えています。

佐々木龍也君
(白銀中)
合格



合格しているかどうか自信がなく、結果がわかった時はすごく安心し、その後に嬉しさが込み上げてきました。1、2年生まではごく普通の勉強時間だったのに対し、3年生になってからは学校に20時まで残り勉強し続けました。送り迎えをしてくれた親に感謝しています。大学校では化学を中心に勉強し、新しいことにもチャレンジしていきたいです。

後藤果歩さん
(八戸一中)
合格



自分の受験番号を見つけた時は、どうしよう、どうしようと落ち着きがなかったのを覚えています。驚きと不安と嬉しさで頭がいっぱいになってしまったからです。今まで挑戦したことがすべて、合格に結びついていたと思っています。例えばそれが失敗だったとしても、何でも経験したい思いで活動してきました。大学では色の勉強をし、組み合わせによって心情がどう変化するかを研究していきたいです。

平成31年度入試合格状況一覧 (4月1日現在)

【国公立大学 27名合格】

北海道教育大学釧路校、北海道教育大学函館校2名、釧路公立大学、名寄市立大学、北見工業大学、青森公立大学2名、弘前大学、青森県立保健大学4名、岩手大学、岩手県立大学、秋田大学、秋田公立美術大学2名、山形大学3名、福島大学、東北大学、茨城大学、筑波大学、東京藝術大学、東京学芸大学

【私立大学 116名合格】

札幌学院大学、札幌国際大学、札幌大学、日本医療大学、北海道科学大学2名、北海道医療大学、八戸学院大学7名、八戸工業大学16名、弘前医療福祉大学、弘前学院大学2名、富士大学、岩手医科大学3名、岩手保健医療大学2名、盛岡大学2名、秋田看護福祉大学、日本赤十字秋田看護大学、東北学院大学3名、東北工業大学、東北福祉大学3名、東北文化学園大学3名、宮城学院女子大学3名、尚絅学院大学2名、仙台白百合大学、東北芸術工科大学6名、仙台大学、いわき明星大学、作新学院大学、国際医療福祉大学3名、日本医療科学大学、埼玉工業大学、文教大学2名、平成国際大学、淑徳大学、千葉工業大学2名、麗澤大学、江戸川大学、聖徳大学、桜美林大学、共立女子大学、杏林大学、工学院大学、駒澤大学、女子美術大学、専修大学2名、大正大学、帝京大学、帝京平成大学2名、目白大学、亀田医療大学、松蔭大学2名、東京造形大学2名、日本社会事業大学、日本大学2名、法政大学2名、目白大学、和光大学、国士館大学、実践女子大学、多摩美術大学4名、武蔵野美術大学、京都橘大学、同志社大学、龍谷大学

【公立短期大学 8名合格】

岩手県立大学宮古短期大学部5名、山形県立米沢女子短期大学2名、会津大学短期大学部

【私立短期大学 6名合格】

青森中央短期大学、八戸学院大学短期大学部2名、仙台青葉学院短期大学3名

【看護・医療系専門学校 13名合格】

青森歯科医療専門学校、八戸看護専門学校2名、東北メディカル学院、八戸医師会立八戸准看護学院、八戸保健医療専門学校3名、仙台医健・スポーツ&こども専門学校3名、高崎市立医師会看護専門学校、横浜市医師会聖灯看護専門学校

【専修・各種学校 30名合格】

札幌ホテル・ウェディングカレッジ、専門学校アレック情報ビジネス学院4名、八戸理容美容専門学校3名、八戸工科学院、上野法律ビジネス専門学校、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ2名、仙台大原簿記情報公務員専門学校、北日本ヘア・スタイリストカレッジ美容専門学校、仙台デザイン専門学校、東日本航空専門学校、代々木アニメーション学院、香川調理製菓専門学校、原宿ベルエポック美容専門学校、東京ビューティーアート専門学校、専門学校青山ファッションカレッジ2名、東京サイクルデザイン専門学校、東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校、パンタンデザイン研究所2名、東京法律専門学校、文化服装学院、東京工学院専門学校、京都府立陶工高等技術専門学校

【文部科学省管轄外の学校 1名合格】

防衛大学校

【公務員 14名合格】

宮城県警察官2名、海上自衛隊一般曹候補生2名、航空自衛隊一般曹候補生、陸上自衛隊一般曹候補生4名、自衛官候補生5名

【民間企業 16名合格】

(株)ファイブフォックス、三八五オートスクール(株)、(株)八戸パークホテル、(株)八戸プラザホテル、正部家産業(有)、三共理化学工業(株)八戸工場、トゥルージオ(株)東北八戸BPOセンター、(株)エコプラス、色川木材(株)ウッドストック、(株)村下建設工業、(株)鷹泉閣岩松旅館、(株)緑水亭、武蔵コーポレーション(株)東京本部、(株)リブマックス、一般財団法人空港保安事業センター、昭和オプトロニクス(株)



退任の職員

お世話になりました

事務長 繫光子 さん
(写真左)

新任の職員

よろしくお願いします

事務長 山之内栄美子 さん
(写真右)

入園おめでとう



登園の様子



「えんちょうせんせい
おはようございます!!」



パネルシアター

～はじめまして
ともだち～



「さくらようちえんへようこそ!!
いっしょにあそびまじょうね」

入園おめでとう

4月9日（火）。まだまだあどけない顔の子どもたちが、保護者に手を引かれ門をくぐってきた。最初の挨拶はしてくれるかな？ どうか？ と待っていると、大きな声で自分からする子、保護者に促されてする子、恥ずかしそうにする子、と様々だった。拍手で迎えられ、保護者に手をひかれた子どもたちが会場のホールへ入場してきた。子どもたちといえば、これから何が始まるんだろうという様子で、後ろの座席の保護者の方を向いたり、椅子から降りたりと席に着くまでそわそわ。10時。いよいよ入園式の始まり。なかなかじっと話を聞くことはできないが、年長児による歓迎のことばや手遊び、教職員によるパネルシアターになるとじっと動かず見入っていた。いよいよ幼稚園の1年が始まる。これから子どもたちはどう変身していくのか、とても楽しみである。



園長
木村 喜久子





八戸工業大学第一高校のレスリング部のみなさん

「もちつき会〜
おもいきねをいっしょに
もって来て、ありがとうございます」



もちつき会では、もちをついたり、つき上がったもちを丸めたり、もちつきをする子どもたちのサポートをしていただきました。

運動会では、用具の出し入れや開会式での演奏などの手伝いをさせていただきました。なかよし祭では、綿あめ作りや、豚汁コーナーでの手伝いをさせていただきました。

八戸工業大学吹奏楽部のみなさん



～運動会～

「うんどうかいのでつだいをしてくれて、
とってもうれしかったよ！」



～なかよし祭～

「おにいさんとおねえさんがつくってくれた
わたあめ、とってもおいしかったよ！」



ようちえんってこんなところ



お別れ会



「ねんちょうさんといっしょにきゅうしょく、
うれしいな♪」

卒園式



「そつえんおめでとう」
「ありがとうございます」

お別れ会

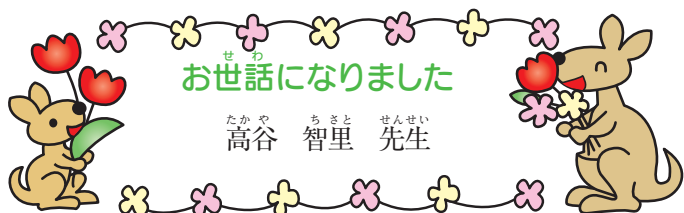


「USA のじかんわりひょう、たいせつにするね！」

お別れ会



「じかんわりひょうのおかえしに、かわいいバッチをもらったよ。
いつもおせわをしてくれてありがとう!!」



後輩にエールを贈る ～同窓会より応援旗、寄贈～

2月15日、平成30年度課外活動学生表彰式の間を借りて八戸工業大学同窓会（同窓会会長 福士信雄）から、在校生の課外活動の活躍を願って応援旗（写真）が贈られた。贈呈式では、齊藤克治同窓会副会長から激励の言葉が贈ら

れ、応援旗がお披露目された。

この応援旗は、課外活動に参加する団体のいずれもが大会等に持っていくことができる。おおいに、活用してほしいものである。在校生の益々の活躍を願う。



大学の主な日程

- 4／27 振替授業日
- 5／6 振替授業日
- 5／9～10 新入生オリエンテーション
- 5／13～17 履修登録修正期間
- 6／5 体育祭
- 6／13～14 就職懇談会（4年生対象）
- 7／21 オープンキャンパス①
- 8／1～6 前期定期試験
- 8／4 オープンキャンパス②

理事会・評議員会

◇2月20日 理事会

- ・八戸工業大学「学則（収容定員）」変更に関する件
- ・八戸工業大学第一高等学校「学則（教育課程表）」変更に関する件
- ・八戸工業大学第二高等学校「学則（教育課程表）」変更に関する件
- ・八戸工業大学第一高等学校長選任に関する件

◇3月29日 理事会・評議員会

- ・評議員の辞任に伴う評議員の選任に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学 組織等に関する規程」制定に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学給与規程」改正に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学定年退職者の再雇用に関する規程」改正に関する件
- ・学校法人八戸工業大学諸規程の改正に関する件
- ・学校法人八戸工業大学「個人番号及び特定個人情報取扱規程」改正に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学が設置する高等学校私学助成事務特定個人情報等取扱規程」制定に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学就業規則」改正に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学有期雇用教職員就業規則」改正に関する件
- ・学校法人八戸工業大学「平成30年度補正予算」に関する件
- ・平成31年度事業計画並びに予算に関する件